

「全力平中」

夢を語り、夢を追う生徒
笑顔 続ける 支え合う

【学校だより】

平戸市立平戸中学校
令和8年3月16日
文責 原田 誠

第21回 卒業証書授与式



ご来賓並びに保護者の皆様に多数ご臨席を賜り、第21回卒業証書授与式を滞りなく挙げていただきましたことに、心より御礼申し上げます。

さすが卒業生です。立ち振る舞い、返事、式歌など、どれをとっても大変立派で、在校生に素晴らしい姿を見せてくれました。また、在校生も式に真剣な態度で臨み、厳粛で温かな雰囲気の中で式を行うことができました。さらに、式の準備や片付けにも一生懸命取り組んでくれたことに、心より感謝しています。これからも、先輩方から受け継がれてきた伝統を大切に守りながら、新たな歴史を刻んでくれることを楽しみにしています。

最後に、式辞でも述べましたように、卒業生一人一人の未来が、笑顔と希望に満ちた輝かしいものとなりますことを、心より祈念申し上げます。



～送ることば～ 在校生代表 久豊 結月さん

3年生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。

やわらかな春の日差しに包まれ、校庭の木々も芽吹き始めるこの良き日に、皆さんの門出をお祝いできることを大変嬉しく思います。

入学した頃の頃、戸惑っていた私達に笑顔で声をかけてくださった先輩方。私達にとって、皆さんはとても大きな憧れの存在となりました。部活動では、優しく、時に厳しくご指導くださいました。礼儀や仲間を思いやる大切さ、試合や発表の場で見せてくださった真剣な表情、最後まで諦めずに挑戦し、毎日の練習に取り組む姿は、今でも心に残っています。体育大会では、先頭に立って各団をまとめ、互いに励まし合う先輩方がとても印象的でした。応援の音が校庭いっぱい響く中、全力で走る皆さんの姿はとても輝いて見えました。合唱コンクールでは、先輩方一人一人の歌声が大きなハーモニーとなって、私達の心に響き渡りました。感動に包まれたあの瞬間が昨日のこのように思い出されます。また、生徒会や委員会活動では学校全体のことを考えてくださり、より良い学校づくりのために力を尽くしてくださいました。先輩方が築き上げて来られた平戸中学校の伝統を、私達が、さらに発展させていくことをここに約束します。

卒業生の皆さんの日々の姿は、私達の憧れでもあり、目標でもありました。皆さんの背中を追いかけながら過ごした日々は、私達の大切な宝物です。これから歩まれる道には、さまざまな出会いや挑戦が待っていることでしょう。しかし、平戸中学校で過ごした日々や、仲間との思い出は、きっとこれからの皆さんの大きな力になると思います。先輩方にとって、今日という日が新しいスタートの一步であり、これからの未来が希望に満ちた素晴らしいものになりますよう、在校生一同、心から願っています。

～別れのことば～ 卒業生代表 松永 朋華さん

本来ならば、この場所でみんなを引っ張るような力強い言葉を言わなきゃいけないと思います。しかし、今、この場所に立ち、私の胸に込み上げてくるのは、やはりみんなと離れたくないという気持ちです。みんなと出会えた奇跡を胸に、今日、3月13日。私たち76名は、この平戸中学校を卒業します。

中学1年生になったばかりの入学式。緊張しながら初々しい顔で正門をくぐったあの日のことを、昨日のこのように思い出します。中学校生活が始まって数日、私たちはまだ新しい環境に戸惑い、失敗することの多い日々でした。

2年生の2学期までは、学年集会などで先生方から多くのことを教えてもらいました。その教を胸に一人一人が意識をすると、学年が終わる頃には周りを見て行動することができるようになり、褒めていただくことが増えました。

そして3年生。この仲間とともに最後の学校生活を送る毎日。それは、嬉しいことであり、悲しいことでもありました。1日1日が過ぎていくたびにみんなと過ごす時間も減っていく。それがとても嫌で嫌で仕方ありませんでした。しかし、それ以上に最後である今、この一瞬一瞬を楽しみたいという思いが私たちの心を前向きにしてくれています。

笑顔を決やさず私達を支えてくださった先生方。心の中ではわかっていたのに素直になれず、そっけない態度を取ってしまうことでもありました。それでも先生方は、私たち一人一人に真剣に向き合い、寄り添ってくださいました。本当にありがとうございました。(裏面に続く)

「全力平中」

夢を語り、夢を追う生徒
笑顔 続ける 支え合う

【学校だより】

平戸市立平戸中学校
令和8年3月16日
文責 原田 誠

そして私たちの家族。嬉しいことがあると、一緒に笑ったり褒めたりしてくれました。悩みを相談すると、どうすればいいのかを一緒に考えてくれました。さらに受験に関しては、私たちのことを一番に考え、いつも支えてくれました。そんな家族の存在には、言葉では言い表せないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

先生方や家族の支えがあったからこそ、中学校生活で失敗や挫折を繰り返しながらも、小さな努力や地道な行動を続けることができました。これからも、将来に向けて、中学校生活で学んだことを活かしながら、努力を積み重ねていきたいと思います。

「学年のみんな、先生方、そして平戸中学校のみんなに出会ったことは、奇跡なんだよ。」私たちが2年生のときにある先生がそう言ってくださいました。その時の私は、言葉の表面的な意味しか理解していませんでした。しかし、3年生になり中学校生活の終わりが近づいてくるたびにその意味が身にしみてわかっていくようになりました。この学年のみんなと笑いあったり、ぶつかりあったりする日々はもうこない。そう気づくと、この仲間と歩んできた時間は大切なものであり、奇跡と呼べる時間だったんだということがわかりました。

そんな奇跡の時間が過ぎ、私たちは今、新たな道へと歩み始めようとしています。

これからの道のりでは、迷ったり、大きな壁にぶつかったりすることがあるかもしれませんが、それでも、私たちが過ごしたこの3年間という奇跡の時間が私たちの背中を押してくれるはずですよ。

在校生の皆さん。これまでたくさんの思い出をありがとうございました。行事や部活動を通して、仲間と協力することの大切さに、改めて気づくことができました。みなさんも、仲間と支え合いながら1日1日を大切にこれからの中学校生活を楽しんでください。

最後になりますが、今日まで温かく見守ってくださった先生方、家族、地域の皆様、そして平戸中学校の全校生徒の皆さんに心から感謝を申し上げ、別れの言葉といたします。

～校長式辞～ 一部抜粋

振り返れば、この三年間は決して平坦な道のりではなかったことでしょう。思うようにいかず悩んだこと、努力しても結果が出ず落ち込んだこと、友だちとの関わりの中で、迷ったり傷ついたりしたこともあったはずですよ。また、先生方の思いを理解しながらも、素直になれず反発してしまったこともあったかもしれません。しかし、そうした悩みや葛藤も含め、様々な経験の一つ一つが、皆さんを確実に強くし、人の痛みが分かる優しい人へと成長させてきました。

さて、これから新しい道へと歩み出す皆さんに、私からはなむけの言葉を贈ります。新しい環境、新しい人間関係、新しい挑戦。時には不安を感じることも、立ち止まりたくなる日もあるかもしれません。しかし、人生の紆余曲折や困難な道のりも、あきらめずに歩み続ければ、必ず未来を切り拓くことができます。たとえ立ち止まることがあっても、もう一度歩み出すその一歩は、昨日の自分よりもきっと力強いものになっていることでしょう。皆さん一人一人には、それぞれの可能性があります。他人と比べる必要はありません。どうか自分らしさを大切にしながら、本校の教育目標である「夢を語り、夢を追う」ことのできる人として、大きく羽ばたいてほしいと願っています。

卒業生の皆さんに、最後に一つお願いがあります。それは、このふるさと平戸で育ったことを誇りに思い、歴史と自然に恵まれたこの地に、将来さまざまな形で貢献できる人へと成長してほしいことです。皆さんがそれぞれの道を歩む中で、このふるさと平戸が、いつまでも心の拠り所であり続けることを願っています。

各種表彰 おめでとうございます



3月11日に、3年生にとって最後となる表彰伝達式を行いました。令和7年度も、多くの生徒や部活動を表彰することができました。また、本校として学校表彰を受けることができ、大変うれしく思います。

卒業や進級後も、それぞれが自分の能力をさらに伸ばし、さまざまな大会やコンクール等で力を発揮してくれることを期待しています。今後のさらなる活躍を願っています。

氏名	コンクール名	結果
女子バレーボール部	第44回田口杯中学校バレーボール大会	優勝
平戸中学校	ペットボトル収集（社会福祉法人平戸市社会福祉協議会長様から）	感謝状